様式第３号

事務事業評価表（令和 3年度）

事業コード	2283	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	計画的な生活道路の整備	実施計画への位置づけ	○有　●無
		個別事業	布佐小学校入口交差点改良事業	②部課名	建設部・道路課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　■布佐　□全市
	⑤事業期間	令和 3年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.32 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）10,955 千円　（うち人件費　2,848 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の拡幅や踏切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。		事業目的	布佐小学校入口交差点及び小学校につながる道路の拡幅を行い、安全な通学路を確保する。
(3)事業内容	内　容	安全な通学路を確保するため、道路拡幅を行い歩道を整備する。それに伴い交差点の適正な形状について検討するとともに、国道３５６号線の管理者である千葉県と協議し、交差点の改良を進める。		当該年度執行計画	交差点設計及び現地測量、用地測量を実施する
				当該年度活動結果指標	業務の進捗率　単位 %　想定値 100　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	交差点設計及び現地測量、用地測量を完了する	直接	業務の進捗率	%	0	100
令和 4年度	用地の取得を行っていく	直接	用地買収率	%		100
令和 5年度	道路整備工事を行う	直接	整備進捗率	%		100
(7)事業実施上の課題と対応	道路拡幅に伴い交差点改良が必要となることから、国道３５６号線の管理者である千葉県との連携を密にとり、課題の整理や検証を行う必要がある。	代替案検討	○有　●無			

(8)施行事項	令和 2年度		令和 3年度			令和 4年度		令和 5年度	
	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
実施内容 費　用			＊ 交差点設計 ＊ 現地測量 ＊ 用地測量	3,817 2,112 2,178		＊ 道路用地取得用印紙代 ＊ 不動産登記手数料 ＊ 用地取得費 ＊ 物件移転補償費	20 2,400 11,000 20,000	＊ 道路拡幅整備	20,000
予算(決算)額	合　計	0	合　計	8,107		合　計	33,420	合　計	20,000
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 0 %	0	充当率 90 %	7,200		充当率 90 %	27,900	充当率 90 %	18,000
一般財源		0		907			5,520		2,000
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)		0		0.32			0.3		0.3
正職員人件費		0		2,848			2,670		2,670
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)		0		10,955			36,090		22,670
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	0千円／＊＊		109.55千円／%						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	布佐小学校入口の道路は、幅員が狭く車両のすれ違いが困難な状態であることから、拡幅整備について要望がなされ、その整備が必要となっている。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性	(2)市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：0 目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%) 達成率(%)(f/b×100) ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 10,955 事業費削減額(d)(千円) — 事業費削減率(%) — 実施予定の対策：□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円) 対事業費(%)(g/c)×100 ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)：0.91 単位 % 費用単位 10万円 計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h) 対目標値(%)(h/e)×100 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向